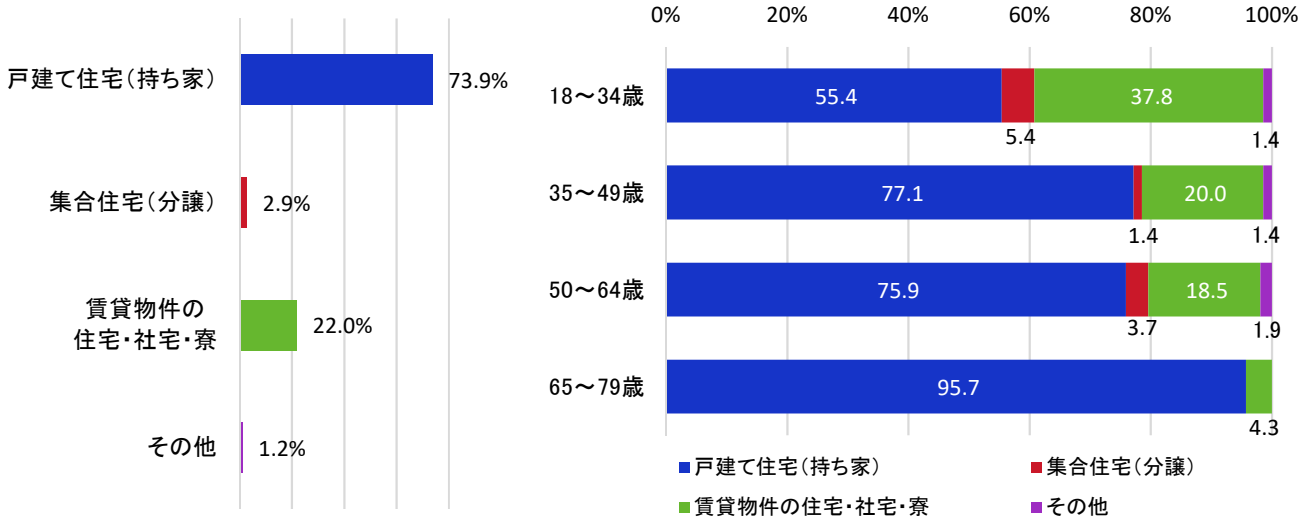
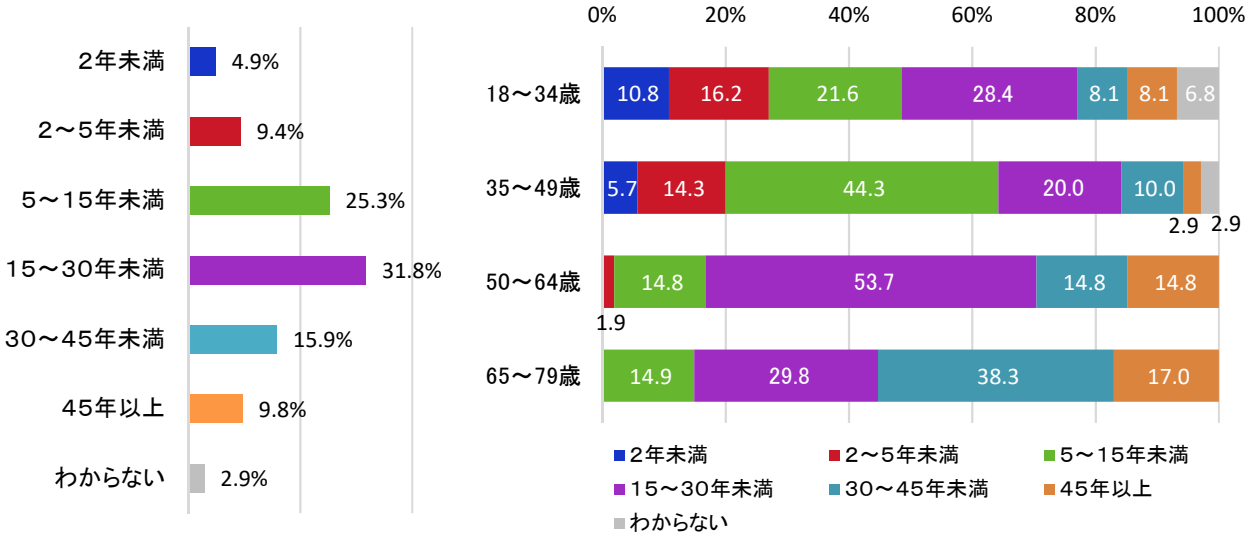
＜住宅の断熱化について＞

■問1　住んでいる住宅の種類　（n＝245）



- 住んでいる住宅の種類については、全体では「戸建て住宅（持ち家）」が73.9%と最も多く、「集合住宅（分譲）」が2.9%、「賃貸物件の住宅・社宅・寮」が22.0%、「その他」が1.2%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「戸建て住宅（持ち家）」が最も多く、世代が高くなるにつれて回答割合が概ね高くなっています。

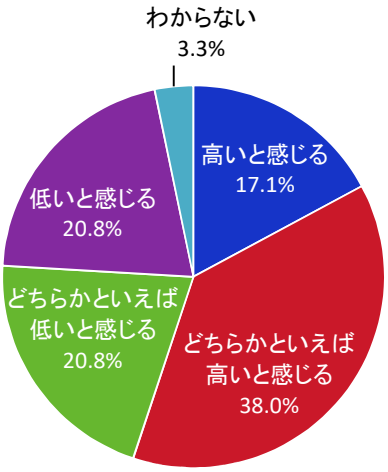
■問2　住んでいる住宅の築年数　（n＝245）

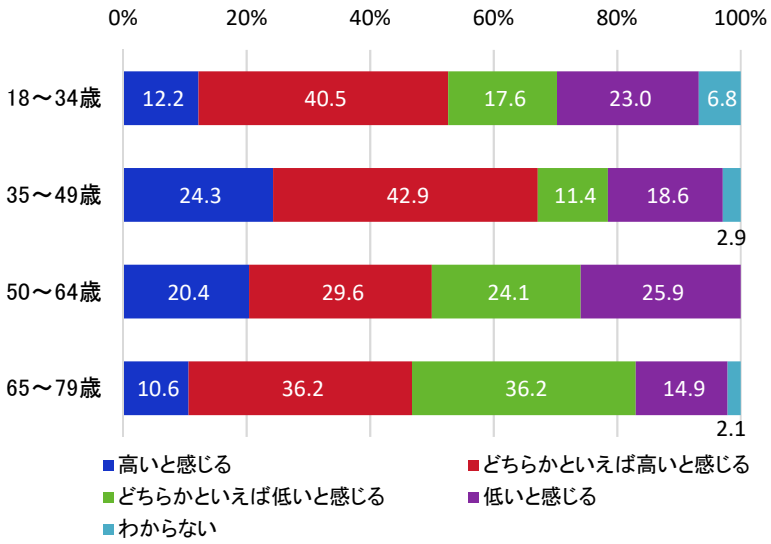


- 住んでいる住宅の築年数については、全体では「15～30年未満」が31.8%と最も多く、次いで「5～15年未満」が25.3%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と50～64歳は「15～30年未満」が、35～49歳は「5～15年未満」が、65～79歳は「30～45年未満」が最も多くなっています。

■問3　住んでいる住宅は寒さや暑さに対する断熱性能※が高いか　（n＝245）

※断熱性能：住宅建物の窓、壁、屋根、床などが、外の寒さや暑さを室内に伝えにくくする性能。





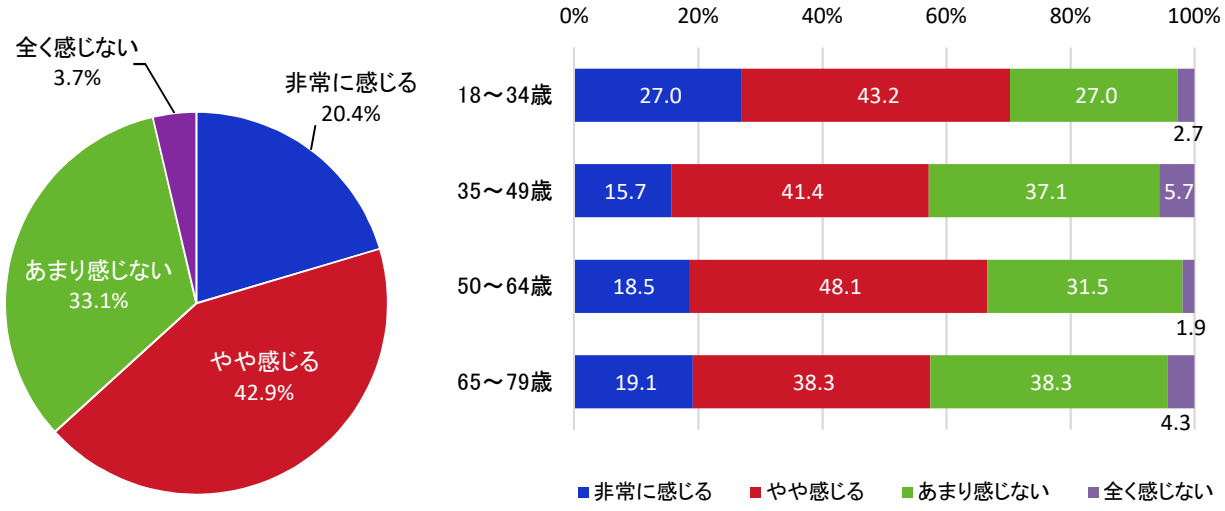
- 住んでいる住宅は寒さや暑さに対する断熱性能が高いかについては、全体では『高い』（「高いと感じる」と「どちらかといえば高いと感じる」の合計）が55.1%、『低い』（「どちらかといえば低いと感じる」と「低いと感じる」の合計）が41.6%となっています。
- 世代別にみると、『高い』は35～49歳が67.2%と最も多く、65～79歳は46.8%と最も少なくなっています。

■問4　住んでいる住宅の冬や夏の室内環境で感じること　（n＝245　複数回答）

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
冬、室内全体が寒いこと	31.4%	35.1	20.0	38.9	34.0
冬、床が冷たいこと	29.8%	37.8	22.9	24.1	34.0
冬、浴室が寒いこと	33.5%	35.1	27.1	38.9	34.0
冬、エアコンが効きにくいこと	7.8%	4.1	8.6	3.7	17.0
冬、すきま風が入り込むこと	10.6%	16.2	7.1	9.3	8.5
結露によるカビの発生が心配なこと	22.4%	16.2	25.7	31.5	17.0
夏、室内全体が暑いこと	50.2%	48.6	55.7	48.1	46.8
夏、エアコンが効きにくいこと	17.6%	16.2	21.4	16.7	14.9
その他	4.5%	4.1	5.7	-	8.5
特に気になることはない	24.1%	25.7	25.7	20.4	23.4

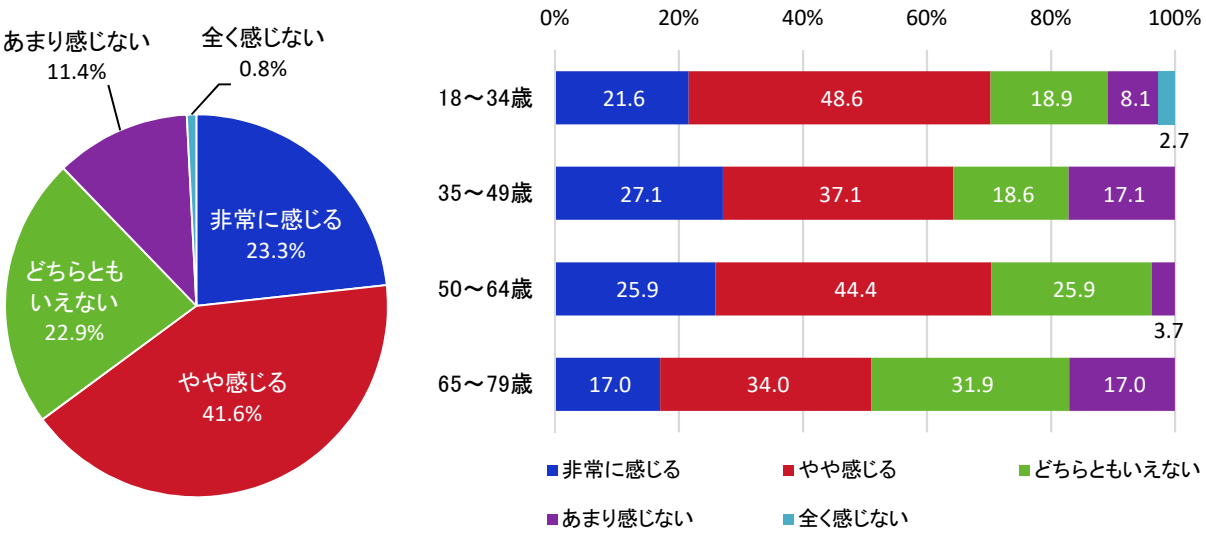
- 住んでいる住宅の冬や夏の室内環境で感じることについては、全体では「夏、室内全体が暑いこと」が50.2%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「夏、室内全体が暑いこと」が最も多くなっています。

■問5　住んでいる住宅は冬に窓付近で温度差を感じるか　（n＝245）



- 住んでいる住宅は冬に窓付近で温度差を感じるかについては、全体では『感じる』（「非常に感じる」と「やや感じる」の合計）が63.3%、『感じない』（「あまり感じない」と「全く感じない」の合計）が36.8%となっています。
- 世代別にみると、『感じる』は18～34歳が70.2%と最も多く、35～49歳は57.1%、50～64歳は66.6%、65～79歳は57.4%となっています。

■問6　住んでいる住宅は光熱費が高いと感じるか　（n＝245）



- 住んでいる住宅は光熱費が高いと感じるかについては、全体では『感じる』（「非常に感じる」と「やや感じる」の合計）が64.9%、「どちらともいえない」が22.9%、『感じない』（「あまり感じない」と「全く感じない」の合計）が12.2%となっています。
- 世代別にみると、『感じる』は50～64歳が70.3%と最も多く、18～34歳は70.2%、35～49歳は64.2%、65～79歳は51.0%となっています。

■問7　住んでいる住宅での設備の導入状況　（n＝245　複数回答）

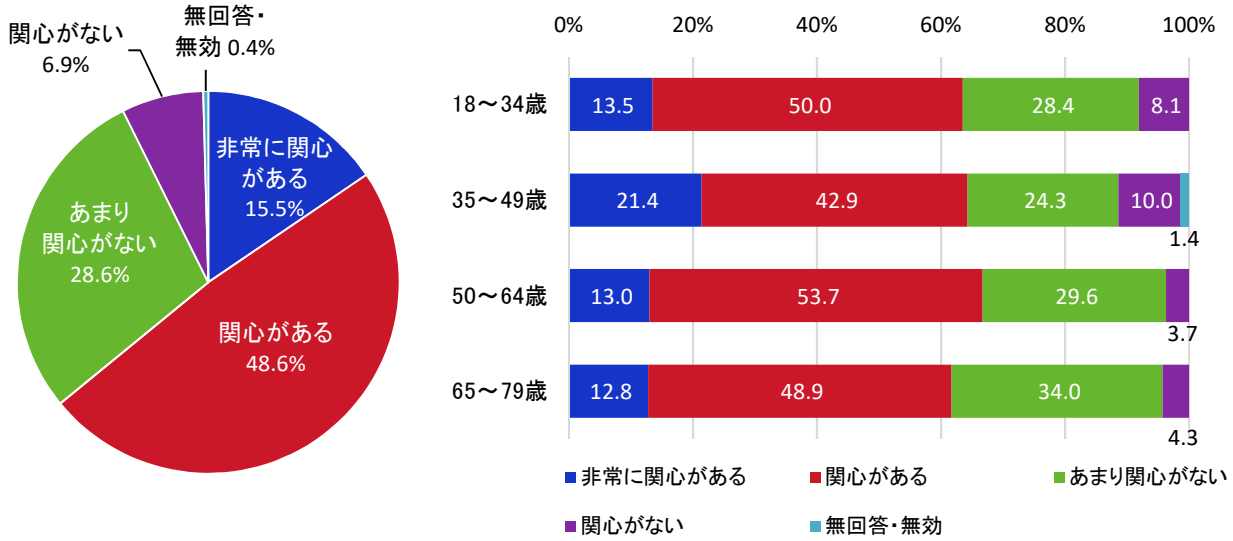
	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
太陽光発電設備	21.6%	23.0	34.3	11.1	12.8
定置型蓄電池	6.1%	8.1	7.1	3.7	4.3
エコキュート	32.2%	28.4	45.7	25.9	25.5
エコジョーズ	6.5%	2.7	5.7	7.4	12.8
エネファーム	1.6%	-	2.9	1.9	2.1
太陽熱利用システム	1.6%	-	1.4	1.9	4.3
2027年省エネ基準のエアコン	6.5%	6.8	7.1	3.7	8.5
何も導入していない	40.0%	37.8	27.1	53.7	46.8
わからない	11.8%	24.3	10.0	5.6	2.1
無回答・無効	0.4%	1.4	-	-	-

- 住んでいる住宅での設備の導入状況については、全体では「何も導入していない」が40.0%と最も多いものの、導入している設備では「エコキュート」が32.2%と最も多く、次いで「太陽光発電設備」が21.6%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と50～64歳と65～79歳は「何も導入していない」が最も多いものの、35～49歳は「エコキュート」が45.7%が最も多く、「太陽光発電設備」も34.3%と回答割合が高くなっています。

■問8　住宅の断熱改修※への関心度　（n＝245）

※住宅の窓などの開口部のリフォームや壁、屋根、床などに断熱材を追加する工事を断熱改修という。

住宅の断熱改修を施すことで、冷暖房効率の向上、光熱費削減など、快適で健康的な住環境の実現につながる。



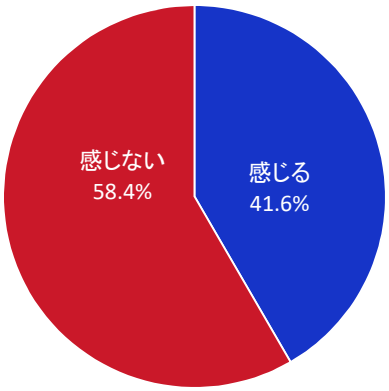
- 住宅の断熱改修への関心度については、全体では『関心あり』（「非常に関心がある」と「関心がある」の合計）が64.1%、『関心なし』（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）が35.5%となっています。
- 世代別にみても、全世代において『関心あり』が60%を超えています。

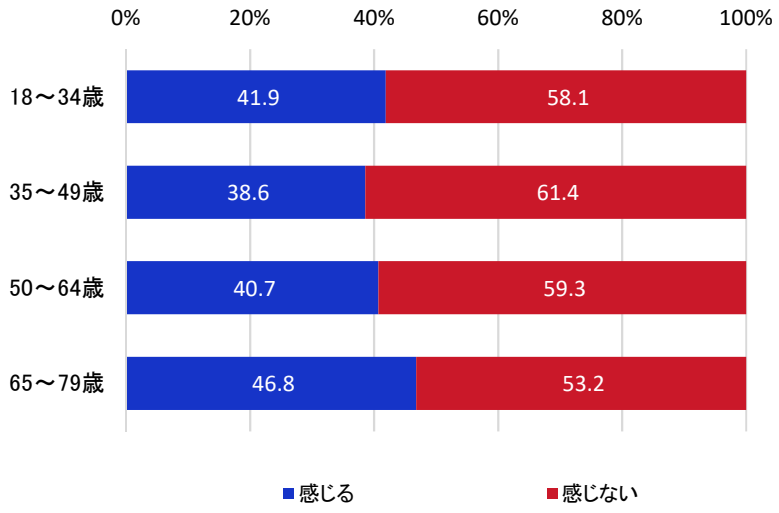
■問9　住んでいる住宅に施したことがある断熱改修　（n＝245　複数回答）

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
窓の断熱化	9.0%	8.1	1.4	7.4	23.4
壁の断熱化	2.4%	1.4	2.9	-	6.4
屋根・天井の断熱化	2.0%	-	-	1.9	8.5
床の断熱化	2.4%	1.4	1.4	-	8.5
浴室の断熱化	4.5%	-	2.9	3.7	14.9
その他	0.8%	-	-	1.9	2.1
断熱改修はしたことがない	69.8%	56.8	85.7	75.9	59.6
わからない	16.7%	36.5	11.4	9.3	2.1
無回答・無効	0.4%	-	-	-	2.1

- 住んでいる住宅に施したことがある断熱改修については、全体では「断熱改修はしたことがない」が69.8%と最も多く、施したことがある断熱改修の回答割合はすべて10%未満となっています。
- 世代別にみても、全世代において「断熱改修はしたことがない」が最も多いものの、施したことがある断熱改修では65～79歳の回答割合が高く、特に「窓の断熱化」は23.4%、「浴室の断熱化」は14.9%となっています。

■問10　住んでいる住宅への断熱改修の必要性　（n＝245）

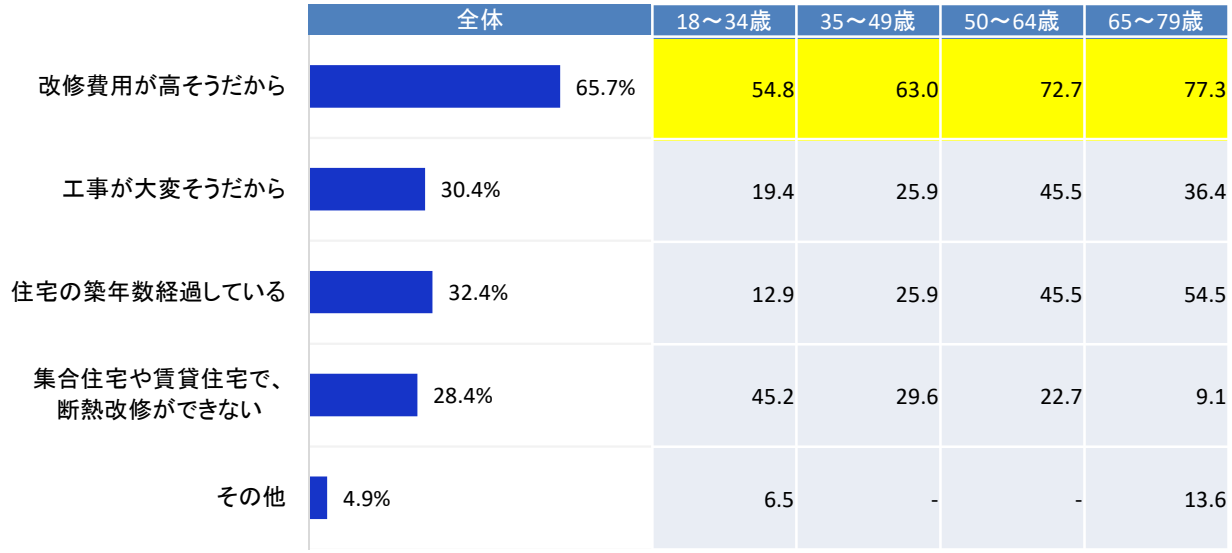




- 住んでいる住宅への断熱改修の必要性については、全体では「感じる」が41.6%、「感じない」が58.4%となっています。
- 世代別にみると、「感じる」は65～79歳が46.8%と最も多く、18～34歳は41.9%、35～49歳は38.6%、50～64歳は40.7%となっています。

■問11　住んでいる住宅に断熱改修を行っていない理由　（n=102　複数回答）

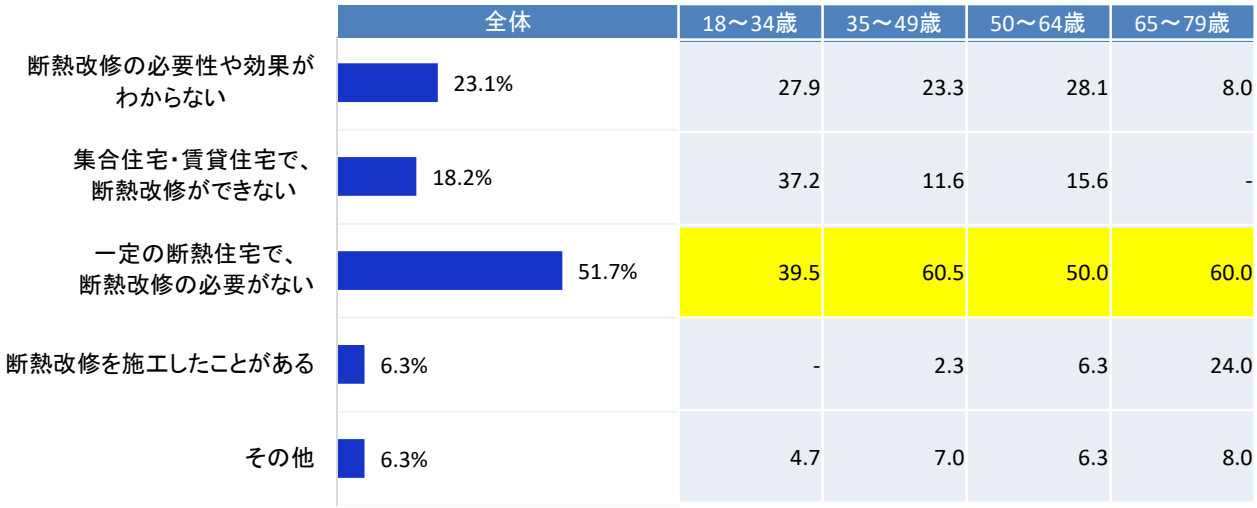
（問10で「感じる」と回答した人）



- 住んでいる住宅に断熱改修を行っていない理由については、全体では「改修費用が高そうだから」が65.7%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「改修費用が高そうだから」が最も多くなっています。

■問12　住んでいる住宅に断熱改修の必要性を感じない理由　（n=143　複数回答）

（問10で「感じない」と回答した人）



- 住んでいる住宅に断熱改修の必要性を感じない理由については、全体では「一定の断熱住宅で、断熱改修の必要がない」が51.7%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「一定の断熱住宅で、断熱改修の必要がない」が最も多くなっています。